



InterView  
FP opinion  
Vol.45

FP会社として  
核となるサービスを生み出したい

「日本の世帯数の将来推計(全国 2013年1月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)によると、2020年には高齢世帯における単独世帯が最多に、さらに2035年には4割に近づくなど、高齢単身者の増加が示されています。

「おひとりさま社会」の到来が予測されるいま、ファイナンシャル・プランナーは、そうした人向けにどのような情報提供やアドバイスを行っていけばよいのでしょうか。ファイナンシャル・プランナーの和泉昭子さんに、ご教示いただきたいと思っています。

はじめに、今年4月にオープンされた「おひとりさまスマイルCafe」の狙いについて、お話を聞かせてください。

**和泉** 株式会社プラチナ・コンシエルジュはこれまで、主に企業や

## 「おひとりさま社会が到来するなか、 将来の不安を取りのぞき 充実した人生を送れるための 情報発信に取り組んでいきます」

2030年を迎えると生涯未婚率は男性3人に1人、女性4人に1人と推計されている。おひとりさま社会の到来だ。株式会社プラチナ・コンシエルジュでは、今年4月、Webサイト「おひとりさまスマイルCafe」をオープンし、単身者や子どものいない夫婦などに向けて、役立つ情報とメンバー相互の交流の場の提供を始めた。代表取締役の和泉昭子さんに、その取り組みについてお話をうかがった。

編集部=聞き手・構成 大野真人=写真

生活経済ジャーナリスト ファイナンシャル・プランナー  
株式会社プラチナ・コンシエルジュ 代表取締役  
**和泉昭子**氏  
Izumi Akiko

団体向けに、講師派遣や各種ツールの作成、人材育成やマーケティングのコンサルティングなど、「人生の基盤となるマネーやキャリアにおける課題を解決し、人生の選択肢を増やすためのお手伝い」をして参りました。

このような、クライアントの要望に丁寧にお応えする仕事に加えて、私たち自身でも、核となるサービスを作っていけないかと、社内でも議論を重ねてきました。

「FPアドバイスの届きにくい、社会的に弱い立場の人たちに向けて、情報発信していきたい」(和泉)、「単身者の将来の人生の不安を少しでも払拭できれば、今をさらに一生懸命に愉しく生きていけ